



地震災害に備え避難訓練の実施 9/2(木)

9月1日からの防災週間に合わせ、この度、地震が起きた時のことを想定して避難訓練を実施いたしました。事前に各学級で、地震が起きた時にはどのように行動するかを指導しました。その中で、押さない、かけない(走らない)、しゃべらない、戻らないの合い言葉「お・か・し・も」について伝えました。

地震が起きる想定の日。非常ベルが鳴ります。子どもたちの顔には緊張の様子が見られます。先生の指示に従い、テーブルの下に隠れます。しばらくすると、「地震が収まりました。先生の指示に従って、園庭に避難してください。」という園内放送が入りました。そこで、各学級ごとに避難行動。全員が外に避難し、安全が確認された後、遊戯室で園長の話の聞いたり、紙芝居を観たりして、避難訓練のまとめをしました。

最近、毎日のように全国至る所で地震が起きています。いつ自分たちが住む地域で大きな地震が起きるか分かりません。各ご家庭でも、もし避難が必要な地震が起きたらどこに避難するかなど、家族できちんと確認しておくことが大切です。幼稚園でも、日々危険回避能力を育てていきたいと思っております。



水の事故0に感謝し、プール納めを実施 9/3(金)



6月8日のプール開きで始まったプールでの活動が終わりました。プールの開設期間は約3か月ありましたが、今年は梅雨が長引いて雨の日が多かったり、逆に晴れると暑すぎて、熱中症予防のWBGT(暑さ指数)が外での運動禁止を示したりして、実際にプールには入れたのは13日間でした。13日間で、のべ454名がプールに入れました。短い日数でしたが、プールに入れたときには、とても楽しそうに水遊びをしていました。



今年度も、13日間、誰一人として、プールで大きなけがをした子どもがいなかったことは良かったです。プール開きの際にお願いしたプールでの約束をきちんと守って、遊んだり泳いだりして楽しめた結果です。たけ組の子どもたちは、最後となってしまいちょっと寂しそうでしたが、事故なく水遊びができたことを感謝して、プールを閉じました。



お知らせ

＜新しいお友達の紹介＞

9月1日(水)から、ひよこ組に、高橋かおるさんが入園しました。もも組の高橋ひかるさんの妹です。先生のオルガンに合わせて踊ったり、年長・年中の子どもたちに世話をしてもらいながら楽しく遊んだりして元気よく過ごしています。これからよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて

保護者の皆様には、感染拡大防止に向けて日頃より御協力をいただき感謝申し上げます。

群馬県も9月12日までは非常事態宣言が発令されております。今後も、幼稚園内で感染拡大にならないよう防止対策に努めていきたいと思っております。そこで、特に幼稚園内にコロナウイルスが持ち込まれないために、次の点について、必ず守っていただけるよう引き続き御協力をお願いいたします。

以下の場合は、必ず施設に連絡をして、登園させないでください。

- 園児やその兄弟、保護者が発熱や呼吸器症状など風邪症状がある場合
- 園児や同居家族が濃厚接触者と認定された場合
- 園児や同居家族がPCR検査、抗原検査等を受けることになった場合